第95回

2015 年 10 月～12月期

「景況調査」

(一社)福岡県中小企業家同友会

目次

１　回答者の属性 3
２　全体の景況判断 5
(ア)　全体の景況感 5
(イ)　各項目の状況 7
３　景況感別の動向 12
４　業種別の動向 12
５　従業員規模別の動向 13
６　本社地区別の動向 13
７　経営上の問題点 14
８　資金繰り 15
９　その他の調査項目 15
(ア)　冬の賞与予定 15
(イ)　中国からのインバウンドの影響 17
(ウ)　中国経済減速の影響 17
１０　経営指針書について 18
１１　自由回答項目 21
(ア)　景況理由 21

1　回答者の属性

第 95 回:調査時期:平成 27 年 12 月 2 日～12 月 25 日

回収数:358 件

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

今回は Web 回答の収集において若干トラブルがあったため、Web と FAX の回答数比較は行わない。

1.業種

No.	カテゴリ	第94回 件数	第94回 (除不)%	第95回 件数	第95回 (除不)%	構成比増減
1	製造業(生産財)	24	6.3	30	8.4	2.1
2	製造業(消費財)	31	8.2	30	8.4	0.2
3	建設業(建築)	39	10.3	41	11.5	1.2
4	建設業(土木)	9	2.4	12	3.4	1
5	建設業(設備)	23	6.1	14	3.9	−2.2
6	商業・流通業	45	11.8	46	12.8	1
7	サービス業(対事業所)	134	35.3	114	31.8	−3.5
8	サービス業(対個人)	75	19.7	71	19.8	0.1
	不明	6		0	0	
	サンプル数(%ﾍﾞｰｽ)	386	380	358	358	−22

2.従業員数

No.	カテゴリ	第94回 件数	第94回 (除不)%	第95回 件数	第95回 (除不)%	構成比増減
1	0名～5名	139	36.1	120	33.5	−2.6
2	6名～10名	66	17.1	61	17	−0.1
3	11名～20名	71	18.4	74	20.7	2.3
4	21名～30名	41	10.6	43	12	1.4
5	31名～50名	31	8.1	21	5.9	−2.2
6	51名～100名	20	5.2	21	5.9	0.7
7	100名以上	17	4.4	18	5	0.6
	不明	1		0		0
	サンプル数(%ﾍﾞｰｽ)	386	385	358	358	−27

3.本社所在地

No.	カテゴリ	第94回 件数	第94回 (除不)%	第95回 件数	第95回 (除不)%	構成比増減
1	福岡地区	283	73.5	257	71.8	−1.7
2	北九州地区	32	8.3	38	10.6	2.3
3	筑豊地区	23	6	26	7.3	1.3
4	県南(筑後)地区	36	9.4	29	8.1	−1.3
5	福岡県外	11	2.9	8	2.2	−0.7
	不明	1		0		0
	サンプル数(%ﾍﾞｰｽ)	386	385	358	358	−27

	%	合計	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
	合計	100	8.4	8.4	11.5	3.4	3.9	12.8	31.8	19.8
本社地区	福岡地区	100	7	7.4	11.3	3.9	3.5	13.6	35.4	17.9
	北九州地区	100	13.2	5.3	18.4			7.9	28.9	26.3
	筑豊地区	100	7.7	11.5	11.5	3.8	3.8	11.5	19.2	30.8
	県南（筑後）地区	100	17.2	13.8	6.9	3.4	13.8	17.2	13.8	13.8
	福岡県外	100		25					37.5	37.5
従業員数規模	0名～5名	100	3.3	3.3	11.7	1.7	2.5	10.8	37.5	29.2
	6名～10名	100	13.1	4.9	13.1	1.6	4.9	14.8	31.1	16.4
	11名～20名	100	5.4	13.5	12.2	5.4	4.1	14.9	29.7	14.9
	21名～30名	100	14	11.6	16.3	9.3	7	2.3	25.6	14
	31名～50名	100	9.5	19		4.8	4.8	19	23.8	19
	51名～100名	100	19	9.5	4.8			19	33.3	14.3
	100名以上	100	11.1	11.1	11.1		5.6	22.2	27.8	11.1

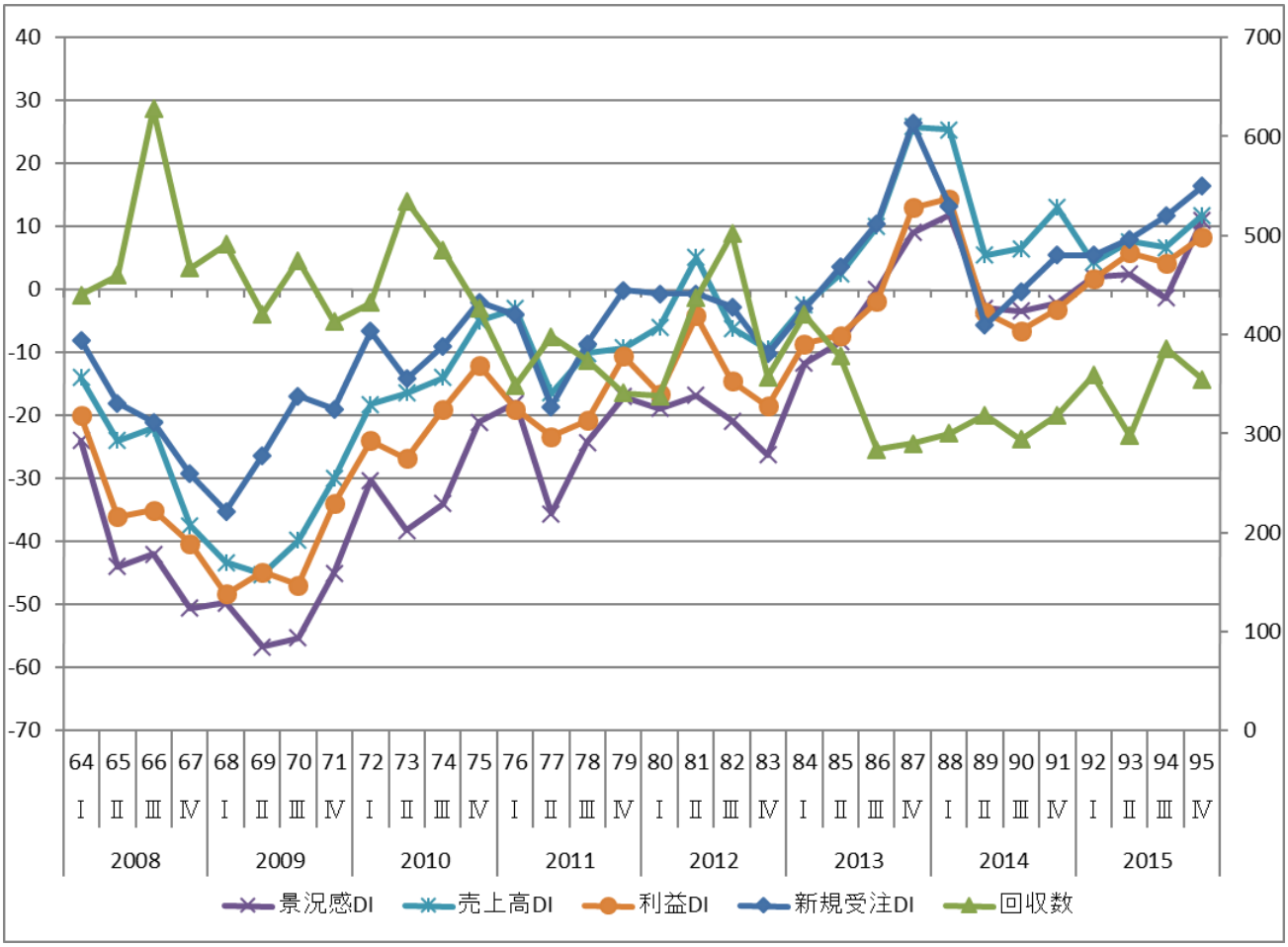
4.所属支部

		第94回		第95回		
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	東支部	31	8.1	40	11.2	3.1
2	福博支部	24	6.3	24	6.7	0.4
3	博多支部	33	8.6	22	6.2	−2.4
4	中央支部	28	7.3	26	7.3	0
5	西支部	20	5.2	22	6.2	1
6	南支部	32	8.3	26	7.3	−1
7	筑紫支部	24	6.3	17	4.8	−1.5
8	福友支部	47	12.2	43	12.1	−0.1
9	青年支部	20	5.2	10	2.8	−2.4
10	玄海支部	9	2.3	13	3.7	1.4
11	かすや支部	13	3.4	12	3.4	0
12	糸島支部	15	3.9	9	2.5	−1.1
13	北九州支部	13	3.4	21	5.9	2.5
14	ひびき支部	14	3.6	13	3.7	1.1
15	筑豊支部	13	3.4	16	4.5	2.4
16	嘉飯支部	10	2.6	11	3.1	−0.5
17	久留米支部	8	2.1	11	3.1	1.8
18	大牟田支部	14	3.6	10	2.8	−0.6
19	有明支部	5	1.3	6	1.7	
20	りょうちく支部	11	2.9	4	1.1	−2.8
	不明	2		2	0	0
	サンプル数（%ベース）	386	384	358	356	−28

2　全体の景況判断

(ア)　　全体の景況感

全体の推移



年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	資金繰りDI
2008	Ⅰ	64	440	−24	−14	−20	−8	8
	Ⅱ	65	460	−44	−24	−36	−18	10
	Ⅲ	66	628	−42	−22	−35	−21	7
	Ⅳ	67	467	−51	−38	−40	−29	25
2009	Ⅰ	68	491	−50	−43	−48	−35	0
	Ⅱ	69	421	−57	−45	−45	−26	0
	Ⅲ	70	475	−55	−40	−47	−17	0
	Ⅳ	71	413	−45	−30	−34	−19	−28
2010	Ⅰ	72	432	−30	−18	−24	−7	−17
	Ⅱ	73	535	−38	−16	−27	−14	−21
	Ⅲ	74	485	−34	−14	−19	−9	−18
	Ⅳ	75	426	−21	−5	−12	−2	−15
2011	Ⅰ	76	349	−18	−3	−19	−4	−28
	Ⅱ	77	398	−36	−16	−23	−19	−11
	Ⅲ	78	374	−24	−10	−21	−9	−13
	Ⅳ	79	341	−17	−9	−11	0	−10
2012	Ⅰ	80	338	−19	−6	−17	−1	−8
	Ⅱ	81	437	−17	5	−4	−1	−6
	Ⅲ	82	502	−21	−6	−15	−3	−15
	Ⅳ	83	357	−26	−9	−19	−10	−16
2013	Ⅰ	84	420	−12	−3	−9	−3	−16
	Ⅱ	85	378	−8	2	−7	4	−8
	Ⅲ	86	284	0	10	−2	11	1
	Ⅳ	87	290	9	26	13	26	0
2014	Ⅰ	88	300	11.9	25.4	14.4	13.3	0.3
	Ⅱ	89	319	−2.9	5.5	−3.6	−5.7	−5.5
	Ⅲ	90	294	−3.4	6.5	−6.5	−0.3	0.4
	Ⅳ	91	319	−2.2	13.0	−3.1	5.5	−0.9
2015	Ⅰ	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	−2.0
	Ⅱ	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	7.4
	Ⅲ	94	386	−1.3	6.7	4.2	11.7	−2.6
	Ⅳ	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	3.9
								2013以前は四捨五入
								※資金繰りDIは73回より5段階評価

すべての項目が改善した。2008 年以来、すべての項目がプラス域は 5 回、うちプラス域でかつ前回より改善しているのは 2013 年Ⅳ期(87 回)と 2015 年Ⅱ期(93 回)と今回。

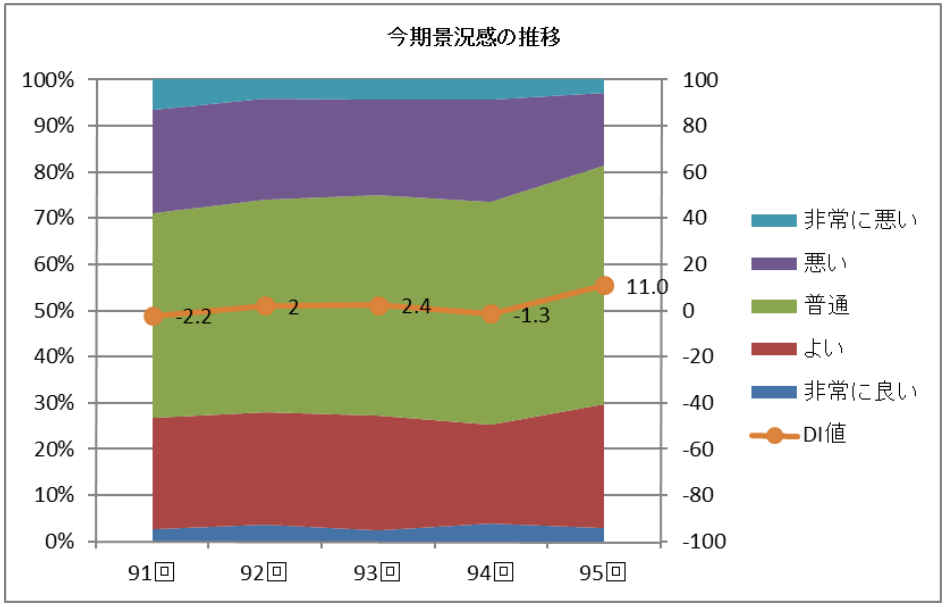
景況がプラス域二桁代になるのは、2014 年Ⅰ期(88 回)以来 7 期ぶり。

景況感 DI	12.3 改善
売上高 DI	5.1 改善
利益 DI	4.2 改善
新規受注 DI	4.7 改善

(イ)　各項目の状況

今期景況感 DI

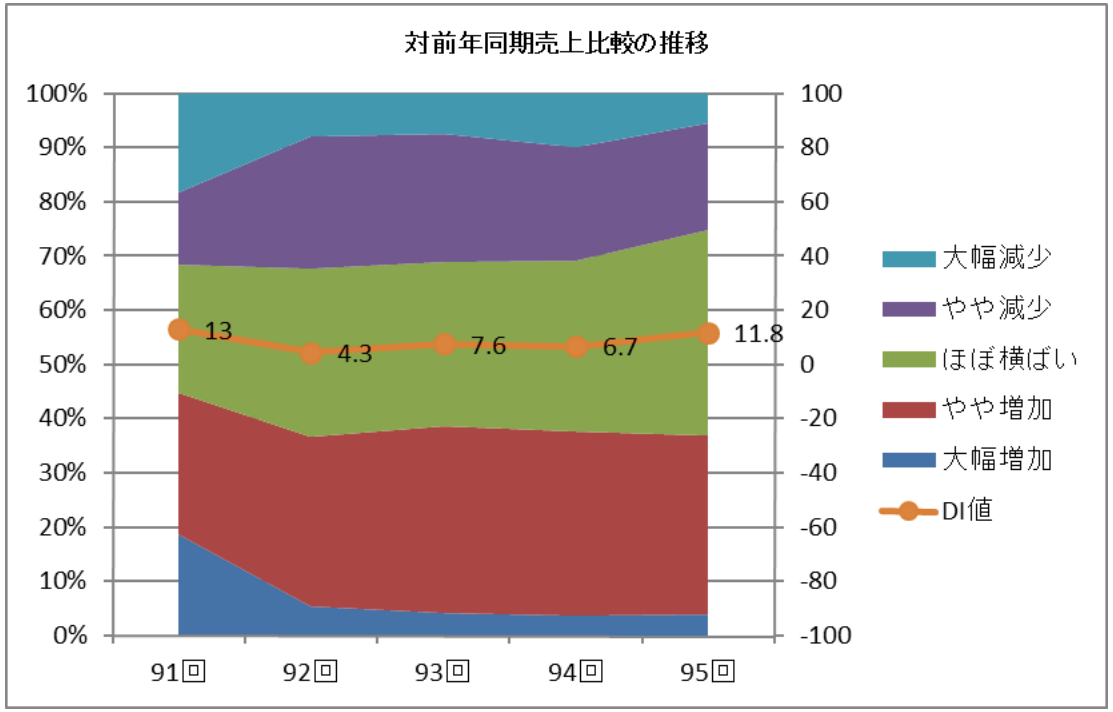
	5.今期景況判断	第94回	DI値	-1.3		第95回	DI値	11		+12.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	非常に良い	15	3.9	25.2		10	2.8	29.6	-1.1	+4.4
2	よい	82	21.3			95	26.8		+5.5	
3	普通	186	48.3	48.3	→	184	51.8	51.8	+3.5	
4	悪い	86	22.3	26.5		56	15.8	18.6	-6.5	-7.9
5	非常に悪い	16	4.2			10	2.8		-1.4	
	不明	1				3				
	サンプル数(%ベース)	386	385			358	355		-30	



今回の景況改善は「よい」の増加、「悪い」の減少が伴ったものとなった。景況がよい側は 29.6%になっている。巻末の景況理由を見ると、よい理由では受注の増加、悪い理由では競争の激化といった回答が挙げられている。

売上高 DI

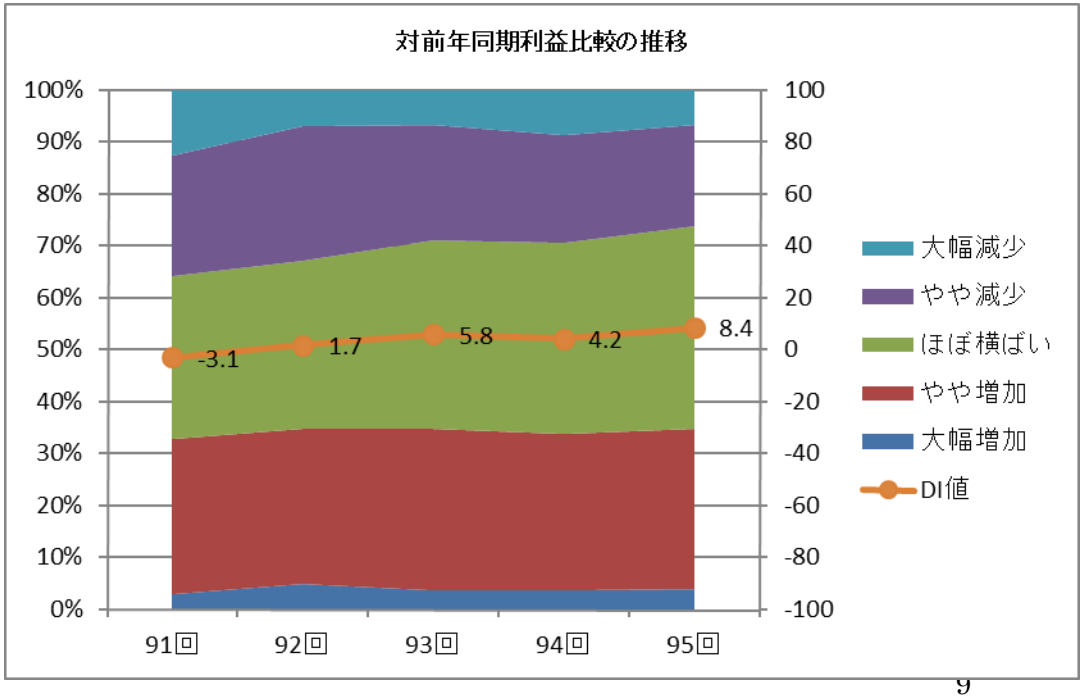
	6.対前年同期売上高比較	第94回	DI値	6.7		第95回	DI値	11.8		+5.1
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	14	3.7	37.5		14	3.9	36.9	+0.2	−0.6
2	やや増加	129	33.8			117	33		−0.8	
3	ほぼ横ばい	121	31.7	31.7	→	135	38	38	+6.3	
4	やや減少	80	20.9	30.8		70	19.7	25.1	−1.2	−5.7
5	大幅減少	38	9.9			19	5.4		−4.5	
	不明	4				3				
	サンプル数(%ベース)	386	382			358	355		−27	



「大幅減少」が減少し「ほぼ横ばい」が増加した。増加側はほぼ横ばいの計 36.9%、売上減少側は前回より 5.7pt 低下している。

利益 DI

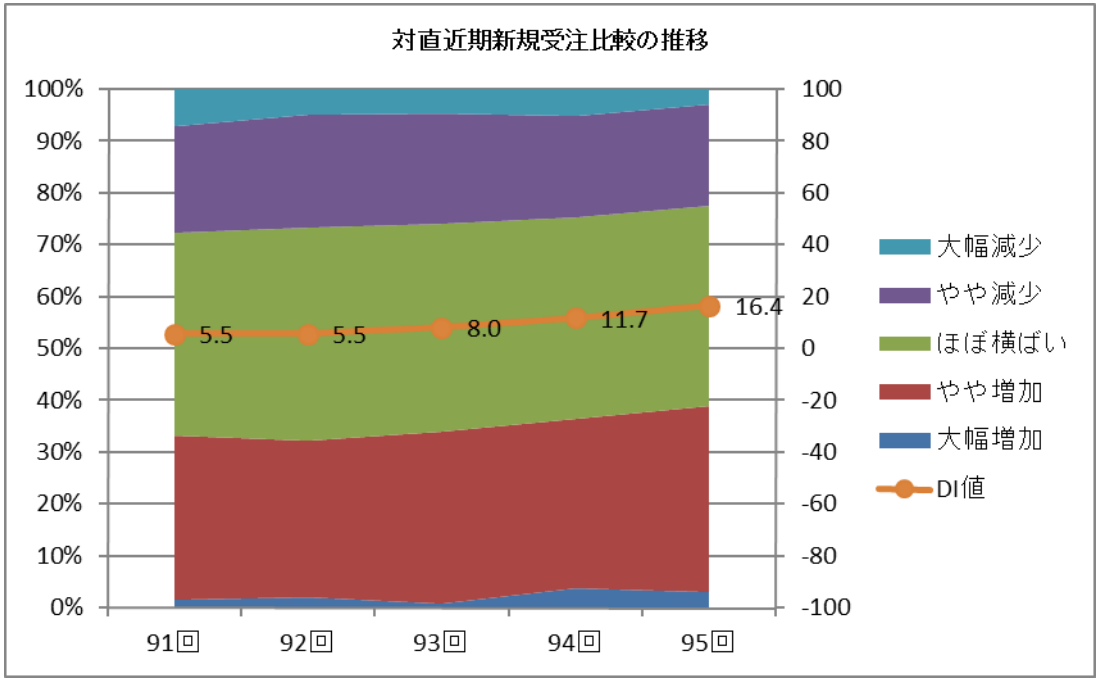
	7.対前年同期利益比較	第94回	DI値	4.2		第95回	DI値	8.4		+4.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	14	3.7	33.7		14	3.9	34.7	+0.2	+1.0
2	やや増加	114	30			110	30.8		+0.8	
3	ほぼ横ばい	140	36.8	36.8	→	139	38.9	38.9	+2.1	
4	やや減少	79	20.8	29.5		70	19.6	26.3	−1.2	−3.2
5	大幅減少	33	8.7			24	6.7		−2.0	
	不明	6				1				
	サンプル数(%ベース)	386	380			358	357		−23	



売上の項目と同様の傾向が表れ「大幅減少」が減少し「ほぼ横ばい」が増加した。利益増加側はほぼ横ばいながら若干増加の計34.7%となっている。

新規受注 DI

	8.対直近期新規受注比較	第94回	DI値	11.7		第95回	DI値	16.4		+4.7
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	14	3.8	36.5		10	2.9	38.9	−0.9	+2.4
2	やや増加	120	32.7			126	36		+3.3	
3	ほぼ横ばい	142	38.7	38.7	→	135	38.6	38.6	−0.1	
4	やや減少	72	19.6	24.8		68	19.4	22.5	−0.2	−2.3
5	大幅減少	19	5.2			11	3.1		−2.1	
	不明	19				8				
	サンプル数(%ベース)	386	367			358	350		−17	

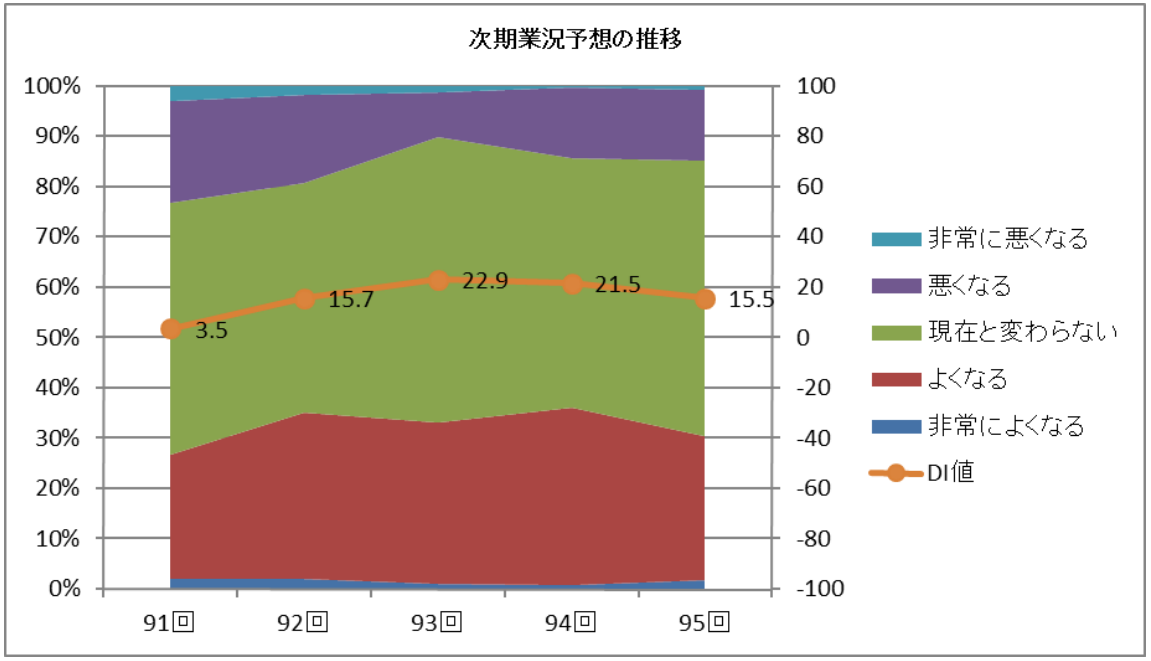


受注増加側が前回より 2.4pt 増加で計 38.9%となり、「ほぼ横ばい」を上回った。
また受注減少側は計 2.3pt 低下となっている。

自由回答の景況理由を見ると、まだ取引先の景気回復がいまだなされていない場合もあるものの、競争激化により受注獲得につながっていないという回答も見られ、市場環境としては次第に動きが見られている状況である。

次期予想 DI

	10.次期業況予想	第94回	DI値	21.5		第95回	DI値	15.5		−6.0
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	非常によくなる	3	0.8	35.9		6	1.7	30.4	+0.9	−5.5
2	よくなる	134	35.1			102	28.7		−6.4	
3	現在と変わらない	190	49.7	49.7	→	194	54.6	54.6	+4.9	
4	悪くなる	54	14.1	14.4		50	14.1	14.9	+0.0	+0.5
5	非常に悪くなる	1	0.3			3	0.8		+0.5	
	不明	4				3				
	サンプル数(%ベース)	386	382			358	355		−27	



景況感は比較的良かったにもかかわらず、93 回から 2 回連続で次期予想 DI は低下し続けている。
前回は「悪くなる」側の増加、今回は「よくなる」側の低下が主因であった。
景気の足元回復と先行き不透明感が乖離しつつある状況が見られる。

3　景況感別の動向

	95回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
	有効回答数	355	100%	352	354	347	352	
今期景況感	非常に良い	10	2.8%(−1.1)	80(−20)	80(−5.7)	70(−16.7)	60(−13.3)	10.0
	よい	95	26.8%(5.5)	78.5(8.1)	78.9(7.3)	73.4(17.6)	30.5(−0.3)	1.1
	普通	184	51.8%(3.5)	3.8(−12.9)	**−2.2(−15.2)**	6.6(−15.7)	14.9(−9.9)	0.5
	悪い	56	15.8%(−6.5)	−64.3(13.4)	−70.9(7.9)	−45.3(10.3)	**−8.9(−11.3)**	1.8
	非常に悪い	10	2.8%(−1.4)	−100(−25)	−100(−31.3)	−77.8(−24.4)	−20(−1.3)	10.0
							()内は前回との差	

			DI値増加	DI値減少	
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正へ　**好転**
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負へ　**悪転**

今期景況感	非常に良い	依然として各数値とも高いものの、前回よりやや減退した
	よい	高い水準で前回よりやや改善増進しつつも次期予想は一段下である
	普通	次期予想を含めて前回より改善減退し、利益は悪転している
	悪い	前回より悪化緩和しているが、次期予想は悪転した
	非常に悪い	前回より悪化している

4　業種別の動向

	95回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		355(−25)	355(−22)	357(−18)	350(−14)	355(−21)	
	全体	358	**11(13.1)**	11.8(5.7)	8.4(5.2)	16.3(5.3)	15.5(−5.8)	0.3
業種	製造業(生産財)	30	**13.3(30)**	**10(18.3)**	**3.3(7.5)**	**13.3(25.8)**	6.7(−10)	3.3
	製造業(消費財)	30	−13.3(25.4)	−20(−7.1)	−26.7(−10)	**0(−6.9)**	6.7(−9.5)	3.3
	建設業(建築)	41	20(−8.2)	17.1(−6.6)	14.6(−3.3)	48.8(18)	34.1(3.4)	2.4
	建設業(土木)	12	**−8.3(−30.6)**	**−33.3(−55.6)**	**−33.3(−33.3)**	**−33.3(−108.3)**	**−9.1(−53.5)**	8.3
	建設業(設備)	14	57.1(35.4)	30.8(8)	28.6(10.4)	28.6(11.2)	14.3(9.9)	7.1
	商業・流通業	46	**11.1(28.9)**	**0(6.7)**	**2.2(11.1)**	**4.4(20.7)**	27.3(13.6)	2.2
	サービス業(対事業所)	114	17.5(7.8)	27.7(17.2)	25.4(19.4)	21.6(3)	21.9(−3.8)	0.9
	サービス業(対個人)	71	−1.4(18.6)	9.9(7.2)	1.4(−2.7)	10.3(7.4)	**−1.4(−20.3)**	1.4
							()内は前回との差	

			DI値増加	DI値減少	
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正へ　**好転**
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負へ　**悪転**

業種	製造業(生産財)	受注、景況を始めに好転した。次期予想は減退している
	製造業(消費財)	受注は悪転、その他悪化しているが景況は悪化緩和した。次期予想は改善減退している
	建設業(建築)	受注は改善増進しているがその他は改善減退した。次期予想は改善増進
	建設業(土木)	すべて大きく悪転している。
	建設業(設備)	すべて改善増進している。
	商業・流通業	それぞれ好転し次期予想も改善増進している
	サービス業(対事業所)	それぞれ改善増進しているが次期予想はやや減退した
	サービス業(対個人)	それぞれ改善増進または悪化減退したが、次期予想は悪転した

5　従業員規模別の動向

	95回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		355(−30)	355(−27)	357(−23)	350(−17)	355(−26)	
	全体	358	11(12.3)	11.8(5.3)	8.4(4.2)	16.3(4.6)	15.5(−5.8)	0.3
従業員規模	0名～5名	120	5(8.6)	7.6(1.8)	4.2(2)	16.1(10.8)	5.9(−16.5)	0.8
	6名～10名	61	8.5(17.6)	16.4(7.2)	8.2(1.9)	18(−7)	23(−9.4)	1.6
	11名～20名	74	8.2(4)	1.4(−0.1)	9.5(12.3)	13.9(3.6)	20.3(3.4)	1.4
	21名～30名	43	7(16.7)	21.4(16.6)	18.6(11.3)	2.4(−5.1)	19(−0.5)	2.3
	31名～50名	21	9.5(25.7)	23.8(20.6)	4.8(11.2)	19(11.6)	9.5(−0.8)	4.8
	51名～100名	21	42.9(22.9)	19(19)	9.5(−5.5)	35(29.7)	33.3(23.3)	4.8
	100名以上	18	44.4(−2.6)	22.2(−19)	11.1(−30.1)	29.4(−14.3)	11.1(−12.4)	5.6
							()は前回との差	

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転

従業員規模	0名～5名	それぞれ改善増進し景況も好転したが次期予想は減退した
	6名～10名	それぞれ改善増進したが受注と次期予想は減退した
	11名～20名	それぞれ改善増進し、利益も好転した。次期予想も増進している
	21名～30名	景況は好転したが受注と次期予想は減退している
	31名～50名	景況、利益は好転したが次期予想は減退している
	51名～100名	それぞれ大きく改善増進したが利益のみ減退している
	100名以上	全体的に減退している

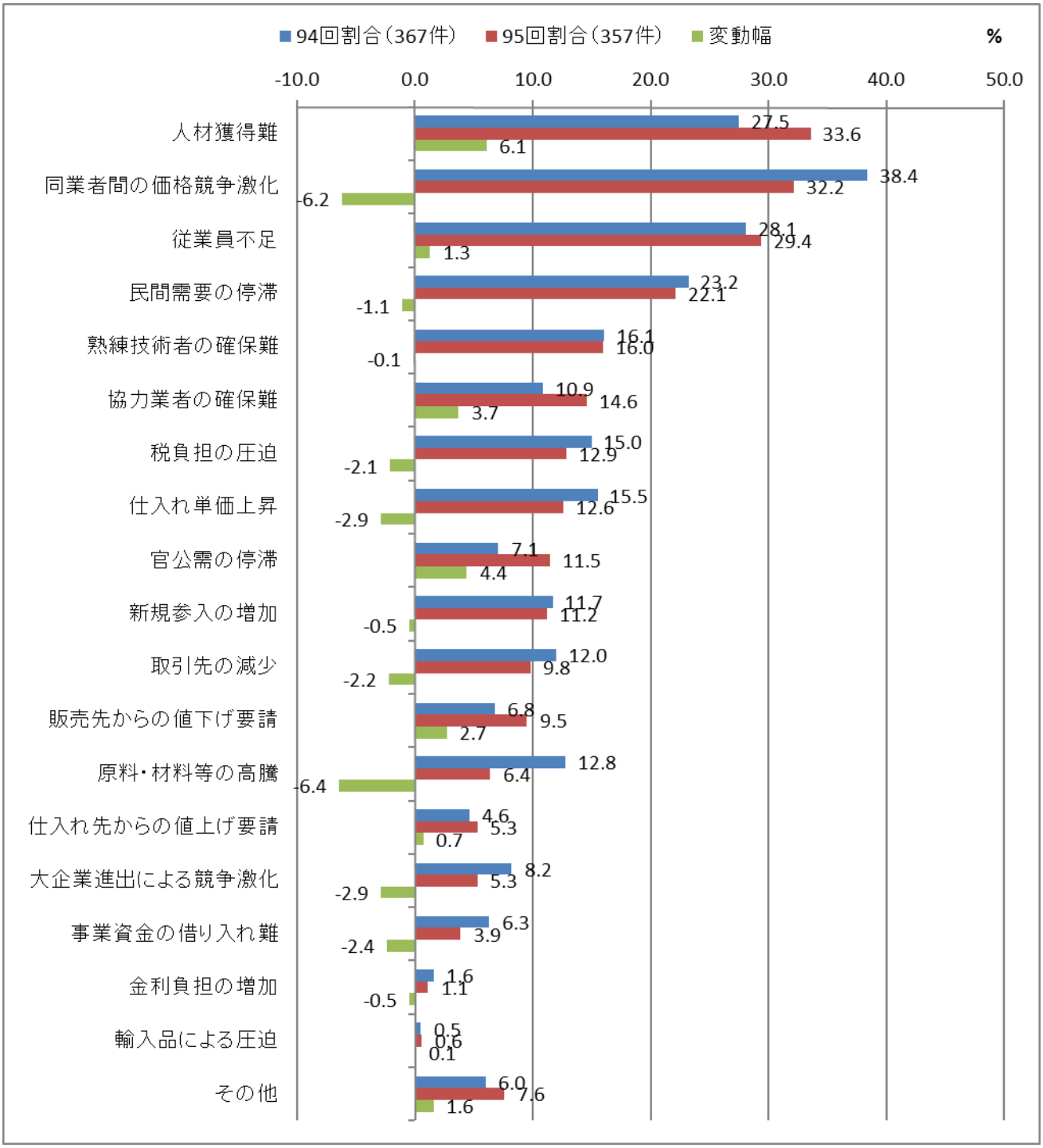
6　本社地区別の動向

	95回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		355(−30)	355(−27)	357(−23)	350(−17)	355(−26)	
	全体	358	11(12.3)	11.8(5.3)	8.4(4.2)	16.3(4.6)	15.5(−5.8)	0.3
本社地区	福岡地区	257	12.2(10.4)	12.5(2.5)	8.6(2.1)	20.6(4)	20.1(−3.1)	0.4
	北九州地区	38	15.8(25.2)	18.4(12.2)	10.5(13.7)	21.6(5.5)	10.5(−5.1)	2.6
	筑豊地区	26	4(25.7)	0(17.4)	11.5(15.9)	−19.2(3.5)	−7.7(−25.1)	3.8
	県南(筑後)地区	29	0(2.8)	7.1(9.9)	13.8(19.5)	11.1(20.2)	6.9(−18.8)	3.4
	福岡県外	8	12.5(21.6)	12.5(12.5)	-37.5(−55.7)	−12.5(−21.6)	0(18.2)	12.5
							()内は前回との差	

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正へ	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負へ	悪転

本社地区	福岡地区	それぞれ改善増進したが次期予想は減退した
	北九州地区	景況・利益か好転したが次期予想は減退した
	筑豊地区	それぞれ好転し受注も悪化緩和したが次期予想は悪転した
	県南(筑後)地区	それぞれ好転したが次期予想は減退した
	福岡県外	景況、売上は好転、利益、受注は悪転した。次期予想は好転(中立的)

7　経営上の問題点



前回 3 位であった人材獲得難が 1 位となり、同業者間の価格競争激化は前回より 6.2pt 低下した。

その他、増加側では「協力業者の確保難」「官公需の停滞」、低下側では「原材料の高騰」などが変動している。

その他経営上の問題点としては「顧客獲得能力不足　◆(サービス業（対事業所）　普通　福岡地区)」「業界が未成熟でサービス自体の認知が低い　◆(サービス業（対個人）　よい　福岡地区)」などがあった。

8　資金繰り

	12.現在の資金繰り	第94回DI	−2.6	第95回DI	3.9	6.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	余裕あり	43	11.2	47	13.1	1.9
2	やや余裕あり	68	17.7	64	17.9	0.2
3	順調	152	39.6	150	41.9	2.3
4	やや窮屈	85	22.1	68	19	−3.1
5	窮屈	36	9.4	29	8.1	−1.3
	不明	2		0		
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	386	384	358	358	−26

資金繰りは前回より 6.5pt 改善の 3.9 となった。

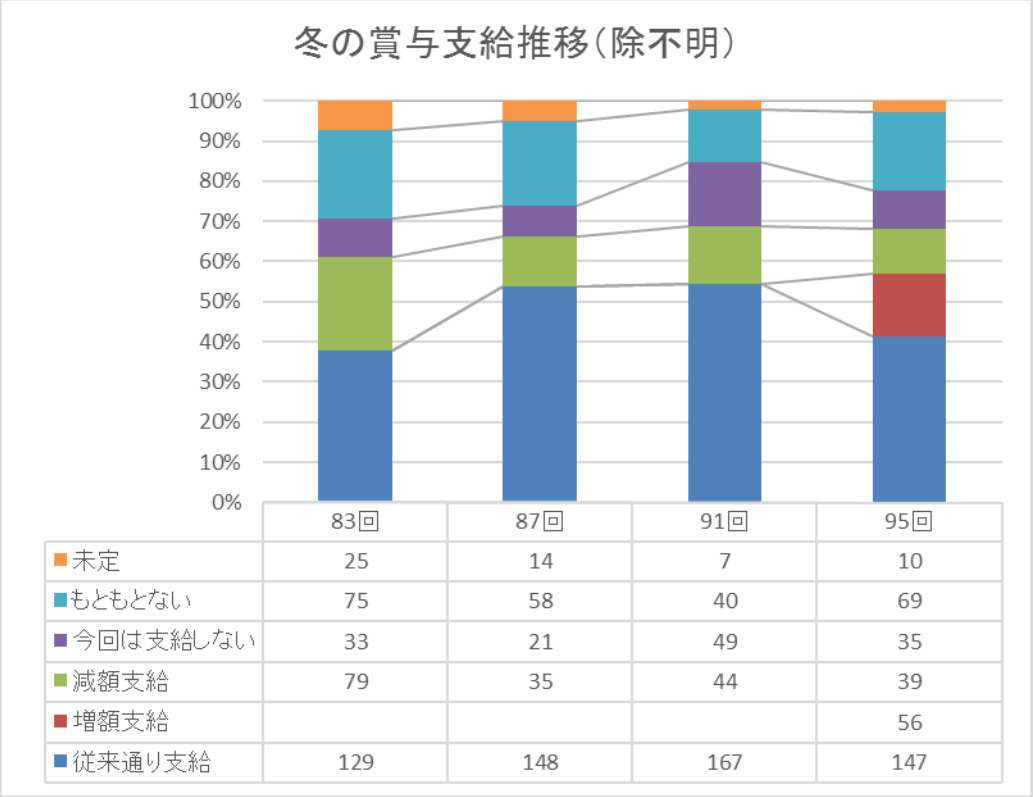
9　その他の調査項目

(ア)　冬の賞与予定

	13.冬の賞与予定	（SA）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	従来どおり支給する	147	41.3	41.1
2	増額して支給する	56	15.7	15.6
3	減額するが支給する	39	11	10.9
4	今回は支給しない	35	9.8	9.8
5	もともと賞与はない	69	19.4	19.3
6	まだわからない	10	2.8	2.8
	不明	2		0.6
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	358	356	100

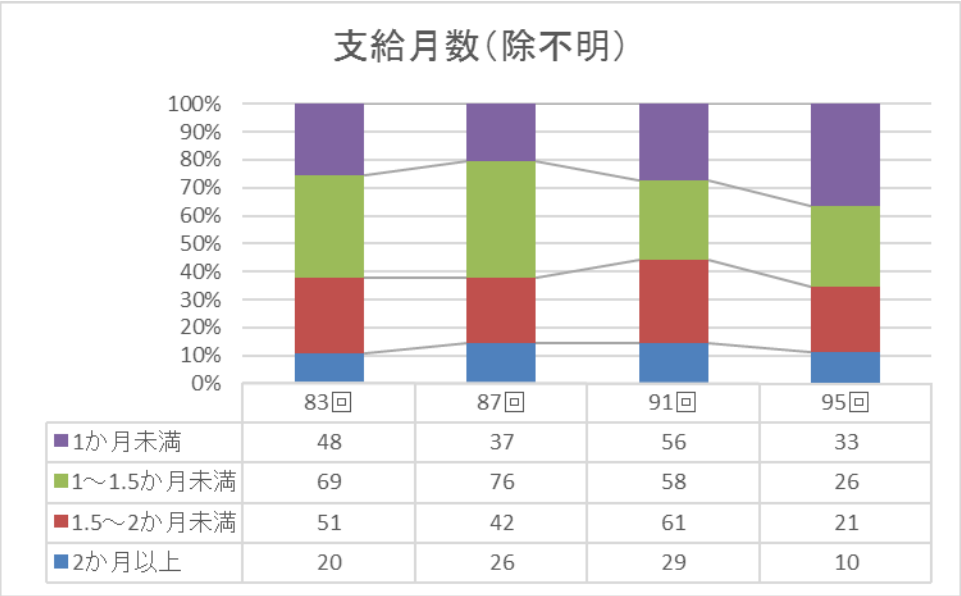
	14.支給月数	（SA）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	2ヶ月以上	10	11.1	2.8
2	1.5～2ヶ月未満	21	23.3	5.9
3	1～1.5ヶ月未満	26	28.9	7.3
4	1ヶ月未満	33	36.7	9.2
	不明	268		74.9
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	358	90	100

今回は「増額して支給する」という項目を追加している。支給側は計 68%であった。



	83回	87回	91回	95回
未定	25	14	7	10
もともとない	75	58	40	69
今回は支給しない	33	21	49	35
減額支給	79	35	44	39
増額支給				56
従来通り支給	129	148	167	147

これまでの推移を見ると、支給側の計としては前回より僅かに下がりつつほぼ横ばいであるが、「もともとない」という回答が前回より増加しており、「今回は支給しない」という回答は減少している。



	83回	87回	91回	95回
1か月未満	48	37	56	33
1～1.5か月未満	69	76	58	26
1.5～2か月未満	51	42	61	21
2か月以上	20	26	29	10

支給水準としては前回より全体的にやや低下している。

(イ)　中国からのインバウンドの影響

	15.中国インバウンドの影響	（SA）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	よい影響	14	4	3.9
2	悪い影響	2	0.6	0.6
3	特に影響なし	315	89	88
4	わからない	23	6.5	6.4
	不明	4		1.1
	サンプル数（%ベース）	358	354	100

「特に影響なし」という回答がほぼ 9 割弱であった。

(ウ)　中国経済減速の影響

	17.中国経済減速の影響	（SA）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	よい影響	3	0.8	0.8
2	悪い影響	28	7.9	7.8
3	特に影響なし	277	78.5	77.4
4	わからない	45	12.7	12.6
	不明	5		1.4
	サンプル数（%ベース）	358	353	100

中国経済減速の影響としては、ほとんどが「特に影響なし」という回答であった。
自由回答としては以下のものがあった。

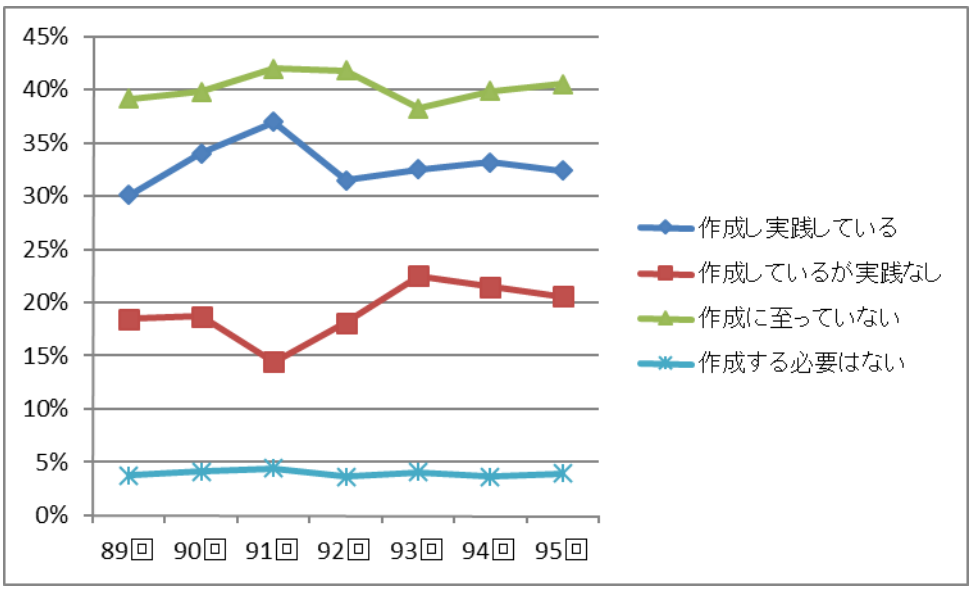
No. 18.中国経済減速の影響内容　　◆(1.業種 5.今期景況判断 3.本社所在地)

1. 今後の来訪者が減少する可能性あり。 ◆(サービス業（対個人） よい 福岡地区)
2. インバウンドが減少すれば、ホテル不足が解消する。 ◆(サービス業（対事業所） よい 福岡地区)
3. 原材料に関して言えば、スクラップや鉄板・形鋼の価値が下がっています。結構な事ですが、その鉄を作っているメーカーとの関わりが、少なからずありますでの、設備に関する発注がダウンすると思われます。 ◆(製造業（生産財） よい 筑豊地区)
4. 表品の需要が減少する。 ◆(製造業（生産財） 悪い 福岡地区)
5. クライアントの事業収益に影響から、そのしわ寄せが新規受注、既存取引の縮小、倒産等につながる可能性がある。 ◆(サービス業（対事業所） よい 福岡地区)

10経営指針書について

作成の状況

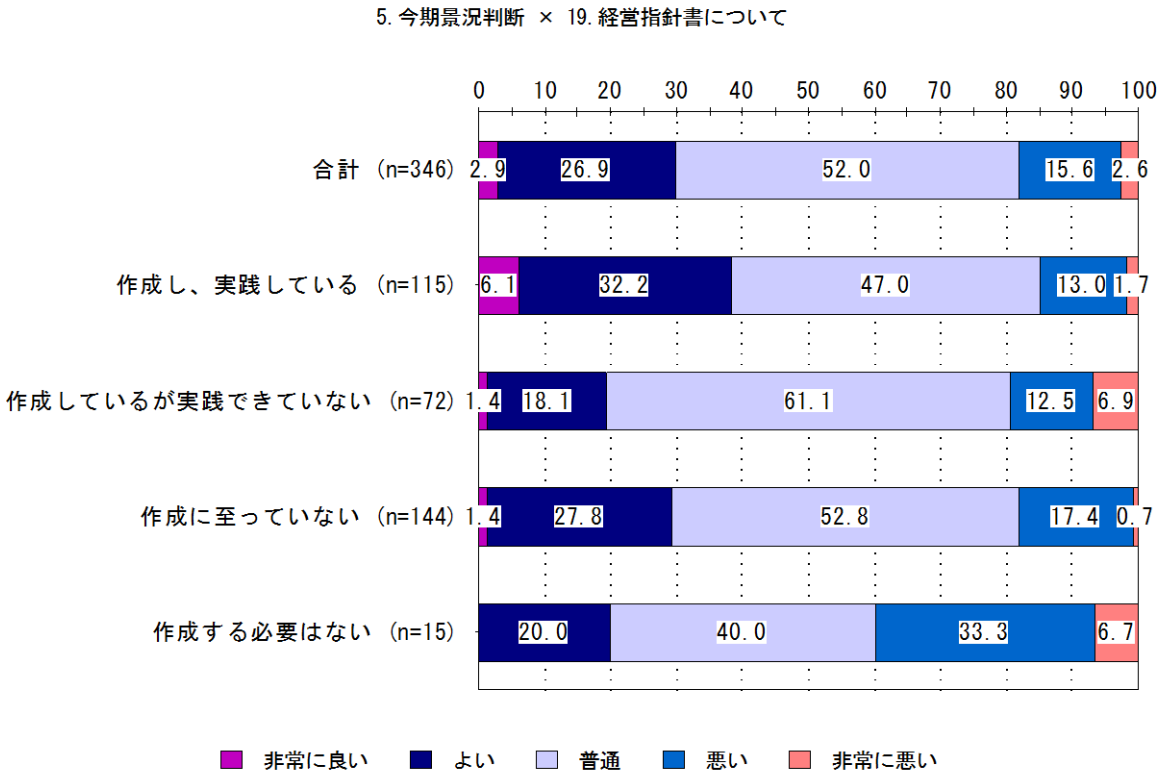
	経営指針書の作成と実践	第94回		第95回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	128	33.8	115	33	−0.8
2	作成しているが実践なし	83	21.9	73	20.9	−1.0
3	作成に至っていない	154	40.6	146	41.8	1.2
4	作成する必要はない	14	3.7	15	4.3	0.6
	不明	7		9	0	0.0
	サンプル数(%ベース)	386	379	358	349	−30



作成側がわずかに減少したものの、概ね横ばいであった。

			割合				前回からの割合増減			
	%	合計	作成し、実践している	作成しているが実践できていない	作成に至っていない	作成する必要はない	合計	作成し、実践している	作成しているが実践できていない	作成に至っていない
	合計	100	33	20.9	41.8	4.3	−0.9	−1.1	1.3	0.6
従業員数規模	0名～5名	100	15	24.8	53.1	7.1	−6.3	1.3	2.4	2.7
	6名～10名	100	26.2	24.6	45.9	3.3	−1.9	−5.1	5.3	1.7
	11名～20名	100	43.1	16.7	36.1	4.2	6	−0.4	−5.3	−0.1
	21名～30名	100	44.2	11.6	41.9	2.3	−3.3	−5.9	11.9	−2.7
	31名～50名	100	57.1	9.5	33.3		2.3	−9.9	10.7	−3.2
	51名～100名	100	52.4	33.3	9.5	4.8	7.4	8.3	−15.5	−0.2
	100名以上	100	50	22.2	27.8		−8.8	10.4	−1.6	0
業種	製造業（生産財）	100	31	17.2	41.4	10.3	−14.8	0.5	8.1	6.1
	製造業（消費財）	100	40	26.7	33.3		4.5	0.9	−5.4	0
	建設業（建築）	100	34.1	26.8	36.6	2.4	5.2	−2.1	−0.2	−2.9
	建設業（土木）	100	25	16.7	58.3		−30.6	−5.5	36.1	0
	建設業（設備）	100	57.1		42.9		9.3	−17.4	16.8	−8.7
	商業・流通業	100	19.6	26.1	47.8	6.5	−18.2	10.5	5.6	2.1
	サービス業（対事業所）	100	40	20	35.5	4.5	4.9	−2.9	−3.4	1.4
	サービス業（対個人）	100	23.9	19.4	52.2	4.5	3.4	−3.9	−1.2	1.8
所属支部	東支部	100	28.6	22.9	48.6		−1.4	−0.4	5.3	−3.3
	福博支部	100	21.7	21.7	56.5		−15.8	17.5	2.3	−4.2
	博多支部	100	27.3	31.8	36.4	4.5	6.1	10.6	−15.1	−1.6
	中央支部	100	23.1	19.2	57.7		−12.6	4.9	7.7	0
	西支部	100	27.3	18.2	45.5	9.1	−2.7	−11.8	20.5	−5.9
	南支部	100	57.7	11.5	30.8		7.7	−10.4	2.7	0
	筑紫支部	100	29.4	17.6	47.1	5.9	−12.3	−3.2	9.6	5.9
	福友支部	100	46.5	20.9	30.2	2.3	−1.3	−0.8	−0.2	2.3
	青年支部	100		30	60	10	0	15	−15	0
	玄海支部	100	23.1	7.7	53.8	15.4	12	−3.4	−1.8	−6.8
	かすや支部	100	33.3	25	41.7		25.6	−13.5	−4.5	−7.7
	糸島支部	100	66.7	11.1	22.2		26.7	−15.6	−11.1	0
	北九州支部	100	35	15	50		−1.4	−12.3	13.6	0
	ひびき支部	100	45.5	18.2	18.2	18.2	0	−18.2	0	18.2
	筑豊支部	100	25	31.3	37.5	6.3	1.9	0.5	−8.7	6.3
	嘉飯支部	100	36.4	18.2	36.4	9.1	6.4	−1.8	−3.6	−0.9
	久留米支部	100	45.5	18.2	27.3	9.1	−4.5	5.7	2.3	−3.4
	大牟田支部	100	30	30	30	10	1.4	−12.9	1.4	10
	有明支部	100	16.7	16.7	50	16.7	−3.3	−3.3	−10	16.7
	りょうちく支部	100		50	50		−54.5	31.8	22.7	0

経営指針書の成果


5. 今期景況判断 × 19. 経営指針書について
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
合計 (n=346)
2.9
26.9
52.0
15.6
2.6
作成し、実践している (n=115)
6.1
32.2
47.0
13.0
1.7
作成しているが実践できていない (n=72)
1.4
18.1
61.1
12.5
6.9
作成に至っていない (n=144)
1.4
27.8
52.8
17.4
0.7
作成する必要はない (n=15)
20.0
40.0
33.3
6.7
非常に良い
よい
普通
悪い
非常に悪い

11自由回答項目

(ア)　景況理由

No.	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	9.そのような結果の理由
1	非常に良い	建設業（建築）	福岡	アベノミックス
2	非常に良い	建設業（建築）	福岡	外壁打診調査義務報告が浸透してきた。
3	非常に良い	建設業（建築）	北九州	既存顧客からの紹介や施行物件を見て頂いた方からの受注があった。
4	非常に良い	サービス業（対事業所）	福岡	前年より悪くなっているが、3 年前から非常に良いので、多少悪くなっても、景況は良い。
5	非常に良い	サービス業（対事業所）	福岡	効率を考え、絞込をしたため。
6	非常に良い	サービス業（対事業所）	筑豊	2014 年月に創業して昨年は創業準備中で売上がなかったため
7	よい	製造業（生産財）	福岡	発注増。
8	よい	製造業（生産財）	福岡	自社の継続的努力と安部政権の経済対策効果
9	よい	製造業（生産財）	福岡	電子部品業界の踊り場で多少在庫調整が始まったため。
10	よい	製造業（生産財）	筑豊	たまたま受注が増した。そして短納期の依頼も断らずに受けた為と思います。
11	よい	製造業（生産財）	県南（筑後）	広く細かく耕す営業活動。消耗資材の計画的購入による原価低減。外注を減らすことで内部加工率を上昇させ収益性が向上
12	よい	製造業（消費財）	福岡	主原料の見直し、値上げ等による粗利益率アップ
13	よい	製造業（消費財）	筑豊	安定して高水準で動いているから
14	よい	建設業（建築）	福岡	年末に向かって毎年の傾向ではありますが、仕事量が多いかなと思います。
15	よい	建設業（建築）	福岡	営業強化による受注増加
16	よい	建設業（建築）	福岡	社員の増加

17	よい	建設業（建築）	福岡	相続税の控除の減額で相続税が上がってきたので、相続対策で借入をしている。 古い家屋の建て替え公共工事の受注
18	よい	建設業（建築）	福岡	営業努力。
19	よい	建設業（建築）	福岡	役所工事の受注あり。
20	よい	建設業（建築）	福岡	景気が前向き
21	よい	建設業（建築）	福岡	仕事の量が増加した為。
22	よい	建設業（建築）	北九州	増税前によるものと見られる
23	よい	建設業（建築）	筑豊	社内組織の強化と人材の成長。
24	よい	建設業（設備）	福岡	受注が堅調に推移しているから。
25	よい	建設業（設備）	福岡	顧客の継続性が良い。（技術に信頼がある）
26	よい	建設業（設備）	福岡	毎年、この時期から忙しくなる。今期最初から、入札工事が取れたから。
27	よい	建設業（設備）	福岡	元請方の増加。
28	よい	建設業（設備）	福岡	東京進出で徐々に向上。
29	よい	建設業（設備）	県南（筑後）	日ごろから良い品質の工事を行うことが信用につながり、売り上げアップにつながっていると思います。
30	よい	建設業（設備）	県南（筑後）	公共工事の受注が、多かったから
31	よい	建設業（設備）	県南（筑後）	企業の設備投資が多かった
32	よい	商業・流通業	福岡	わからない。
33	よい	商業・流通業	福岡	暖かく、天気が良かったからではないかと、思っています。
34	よい	商業・流通業	福岡	消費税増税の影響が一段落した為
35	よい	商業・流通業	福岡	展示会により新規顧客獲得が出来た。
36	よい	商業・流通業	福岡	円安による恩恵が大きい
37	よい	商業・流通業	北九州	営業努力
38	よい	サービス業（対事業所）	福岡	客の業績が上がっている
39	よい	サービス業（対事業所）	福岡	取引き企業の売上げアップに伴う算出基礎数字アップ。
40	よい	サービス業（対事業所）	福岡	営業に注力した。
41	よい	サービス業（対事業所）	福岡	法改正にともなう需要が増えた
42	よい	サービス業（対事業所）	福岡	景気の好転

43	よい	サービス業（対事業所）	福岡	まじめにこつこつやったから。
44	よい	サービス業（対事業所）	福岡	当社は保育サービス業であります。保育園の利用者が増えたことと　②臨時保育（イベント保育）サービスの受注が増加によるもの。
45	よい	サービス業（対事業所）	福岡	事業を絞り、その結果が出てきたためか。蓄積がきいてきた。
46	よい	サービス業（対事業所）	福岡	客数が増えた為。
47	よい	サービス業（対事業所）	福岡	社員の意識が変わった。全体営業が出来ているため。
48	よい	サービス業（対事業所）	福岡	同一取引先からの契約額増
49	よい	サービス業（対事業所）	福岡	特に景気等の外的要因には関係なく、これまでの地道なお客作り活動の結果。
50	よい	サービス業（対事業所）	福岡	アパレルのため季節要因
51	よい	サービス業（対事業所）	北九州	限界利益率の向上６３％→６５．９％に改善。
52	よい	サービス業（対事業所）	北九州	通常業務以外の受注があったため
53	よい	サービス業（対事業所）	県南（筑後）	高額のスポット受注がいくつかあった為。
54	よい	サービス業（対事業所）	福岡県外	品揃え、全員営業
55	よい	サービス業（対個人）	福岡	人員不足
56	よい	サービス業（対個人）	福岡	法人契約の増加
57	よい	サービス業（対個人）	福岡	対個人の事業であり、紹介から紹介が増えてきた
58	よい	サービス業（対個人）	福岡	主に口コミで顧客獲得ができた。
59	よい	サービス業（対個人）	北九州	営業による新規顧客増加の為。
60	よい	サービス業（対個人）	筑豊	取り組んできたことの成果が出たと考えている
61	普通	製造業（生産財）	福岡	やや減少、人件費高騰（パート社員確保）。
62	普通	製造業（生産財）	福岡	業界的にやや仕事量が多いと思われます。
63	普通	製造業（生産財）	福岡	前年はイレギュラーの仕事が入ったが、今年は入らなかったことで売上はやや減少。しかし、新規のお客様が入ったので売上の減少率は少なくて済んだ。
64	普通	製造業（生産財）	北九州	管理に力を入れて、納期など改善した。
65	普通	製造業（生産財）	北九州	昨年度が良すぎた
66	普通	製造業（生産財）	県南（筑後）	着実な営業活動で安定した結果に結びついた。

67	普通	製造業（生産財）	県南（筑後）	販売先の増加。
68	普通	製造業（消費財）	福岡	原材料価格が高くなり、そのままの状態（原油安にも関わらず）。
69	普通	製造業（消費財）	福岡	建築を取巻く環境
70	普通	製造業（消費財）	福岡	人的問題により営業が出来ない為
71	普通	製造業（消費財）	県南（筑後）	カタログ通販会社の新しいカタログに主力で採用されたため。
72	普通	製造業（消費財）	福岡県外	新製品の製造準備で人件費が膨らみ利益を圧迫した
73	普通	建設業（建築）	福岡	入札物件の落札。
74	普通	建設業（建築）	福岡	前年度（2014）と比較しているため減少しているが、業績としては「悪い」と言う訳ではない。
75	普通	建設業（建築）	福岡	新規取引先の増加。
76	普通	建設業（建築）	北九州	目標に対し不動産が伸びていない。
77	普通	建設業（建築）	筑豊	薄利多売
78	普通	建設業（土木）	福岡	建設需要は良好である。
79	普通	建設業（土木）	福岡	昨年ほど案件数が少ない。
80	普通	建設業（土木）	福岡	公共・民間工事の発注件数が減少している為
81	普通	建設業（土木）	福岡	工事の発注が前倒しになっているから
82	普通	建設業（土木）	筑豊	公共事業はいくら入札しても抽選によって受注になるのでくじ運任せの状態です。現状では民間の仕事を主に活動しています。
83	普通	商業・流通業	福岡	新規顧客との契約が貢献した
84	普通	商業・流通業	福岡	新規広告の反応が非常に悪化（業界動向に懸念点があるため）
85	普通	商業・流通業	福岡	主要顧客の業績好調。新規開拓の効果。
86	普通	商業・流通業	福岡	営業所を一つ閉鎖したことによる、顧客の減少
87	普通	商業・流通業	福岡	商品卸先の売上が減少したため
88	普通	商業・流通業	福岡	月別の売上げ傾向によるもの。
89	普通	商業・流通業	福岡	コスト削減による効率化。
90	普通	商業・流通業	福岡	昨年の消費税増税後より受注低迷、円安により海外生産品の原価 UP により利益率低下。
91	普通	商業・流通業	福岡	販売方法のテスト中

92	普通	商業・流通業	北九州	設備投資が低調。
93	普通	商業・流通業	筑豊	自動車関連の製造業の生産量が落ちたため。
94	普通	商業・流通業	県南（筑後）	小売業ですが、催事においての企画が良かった。
95	普通	商業・流通業	県南（筑後）	取引先の閉店　値下げ要求に応じたため利益減少
96	普通	サービス業（対事業所）	福岡	顧客増
97	普通	サービス業（対事業所）	福岡	新規顧客の増
98	普通	サービス業（対事業所）	福岡	9 月に実施したリニューアルの効果が継続的に続いているため。
99	普通	サービス業（対事業所）	福岡	付加価値の高い仕事が増えた。
100	普通	サービス業（対事業所）	福岡	客先はレギュラーが多い。その出稿量が増えた。
101	普通	サービス業（対事業所）	福岡	新規受注数については前年に比して同等だが、顧客側都合による契約解除(廃業を含む)が増加した為。
102	普通	サービス業（対事業所）	福岡	新規開拓不足ではあるが、既存客のリピートは安定している
103	普通	サービス業（対事業所）	福岡	市場価格の低下で販売価格や売上減少。季節では、夏場は受注が多く気温が下がると受注が減るので。
104	普通	サービス業（対事業所）	福岡	行政業務のため受注予算の減少。
105	普通	サービス業（対事業所）	福岡	納品先の仕事容量が昨年と同じ程度であった。
106	普通	サービス業（対事業所）	福岡	顧客がすこしずつ増えてきた
107	普通	サービス業（対事業所）	福岡	新入社員の割合が増えるため。
108	普通	サービス業（対事業所）	福岡	市場情勢による
109	普通	サービス業（対事業所）	福岡	205 年 7 月～9月が、例年に比べ非常に減少していたため、比較対象を昨年度にするとやや減少である
110	普通	サービス業（対事業所）	福岡	手間のかかる業務を受注したため、結果的に効率が悪くなったもの。景気判断とは関係ない要因です。
111	普通	サービス業（対事業所）	福岡	新規業務委託はわずかに増えたが、それに伴い外注も増加した為。
112	普通	サービス業（対事業所）	福岡	大きな拡大策を打っていない
113	普通	サービス業（対事業所）	福岡	前年度が良くなかったため
114	普通	サービス業（対事業所）	筑豊	人材の確保がむずかしい
115	普通	サービス業（対事業所）	県南（筑後）	地方の景気は良くない状況です。

116	普通	サービス業（対個人）	福岡	新規の販売促進キャンペーンを行った。
117	普通	サービス業（対個人）	福岡	人手不足により、メニュー作りなどお店づくりの仕事がしっかりできなかったため。
118	普通	サービス業（対個人）	福岡	個人相手の事業で景況の影響小さい。
119	普通	サービス業（対個人）	福岡	新規開拓が出来ていないため。
120	普通	サービス業（対個人）	福岡	役所の予算削減。
121	普通	サービス業（対個人）	福岡	人件費の増加
122	普通	サービス業（対個人）	福岡	介護報酬改定による減収
123	普通	サービス業（対個人）	福岡	稼働日数の減少による。
124	普通	サービス業（対個人）	福岡	今年度は教室毎に売り上げ増と売り上げ減のばらつきがあり、平均したら昨年とほぼ同じ状況になった。また、来年度入会申し込み人数は増加している。
125	普通	サービス業（対個人）	福岡	業務コントロールがしやすいので。
126	普通	サービス業（対個人）	北九州	何も変わらない
127	普通	サービス業（対個人）	北九州	利用者の増加
128	普通	サービス業（対個人）	筑豊	台風が来たため
129	普通	サービス業（対個人）	筑豊	新商品の減少（メーカー依存）
130	普通	サービス業（対個人）	県南（筑後）	4～9 月までの実績が好調。0～2 月案件の前倒しが多く、その反動で売り上げは、前年比ほぼ横ばいとなったもの。
131	普通	サービス業（対個人）	県南（筑後）	ニーズの増加。
132	普通	サービス業（対個人）	福岡県外	件当たり少額なケースが多い為と思います。
133	普通	サービス業（対個人）	福岡県外	医療関係なので、仕入れで消費税がかかって支出は増えても、消費税を収入面で加算できないため。業績は変わらなくても、仕入れ分の消費税がそのまま経営を圧迫する構造となっているため
134	悪い	製造業（生産財）	福岡	営業活動不足による結果、受注不振を招いた。
135	悪い	製造業（生産財）	福岡	国の公共事業予算が、降りている様でも、末端へ降りてきていないような感触であり、測量業界に聞いてみても全国的に予算が出てないと回答された

136	悪い	製造業（生産財）	福岡	関係公共事業の削減
137	悪い	製造業（生産財）	福岡	販売先の北海道が低迷の為。
138	悪い	製造業（生産財）	県南（筑後）	企業の広告費削減が大きい
139	悪い	製造業（消費財）	福岡	前期同様、需要低迷である。前期は～3月で計画未達成ながら、わずかな経常利益確保となったが、今期は見通しが厳しいと言わざるを得ない。
140	悪い	製造業（消費財）	福岡	景気の低迷。
141	悪い	製造業（消費財）	県南（筑後）	増税後の売上減。
142	悪い	建設業（建築）	福岡	わからない
143	悪い	建設業（建築）	福岡	競争の激化。
144	悪い	建設業（土木）	福岡	入札で落札できない
145	悪い	建設業（設備）	筑豊	新規の物件がなかったため。
146	悪い	商業・流通業	福岡	一般消費者の景気回復は、まだ出来ていない。
147	悪い	商業・流通業	福岡	売上げは大幅減少でしたが、利益率が上がる仕事が良かった。
148	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	新車販売の不足による中古車高、整備は競争の為。
149	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	顧客が廃業したこと
150	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	売上高はやや増加したものの、人材不足により人件費や外注費が増加して収益低下になった。
151	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	低価格化による競争の激化とお客さまの経費節減による発注控え。
152	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	既存顧客の受注減
153	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	今年開業年の為。
154	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	当社は、福祉サービス事業所（就労移行支援事業所）であり、障がい者就労支援の為、売上的な資源は、障がい者利用者数となり、近況、当事業所利用者の就労実績に繋がったり、体調不良状態による、退所が原因となってます。
155	悪い	サービス業（対事業所）	福岡	仕入れ単価増加。
156	悪い	サービス業（対事業所）	県南（筑後）	取引先の経費抑制及び同業他社との低価格競争
157	悪い	サービス業（対個人）	福岡	現在の社会状況に応じて変動する。

158	悪い	サービス業（対個人）	福岡	競争激化
159	悪い	サービス業（対個人）	福岡	競争の激化によるコストの上昇、利益率の低下のため。
160	悪い	サービス業（対個人）	福岡	消費の低迷
161	悪い	サービス業（対個人）	福岡	広告をそれ程行っていなかったから。
162	悪い	サービス業（対個人）	福岡	競合増。
163	非常に悪い	製造業（生産財）	福岡	すべての業種が良くないため。
164	非常に悪い	製造業（消費財）	福岡	ベテラン社員の退社及び新人の不慣れ
165	非常に悪い	サービス業（対事業所）	福岡	人材不足による。
166	非常に悪い	サービス業（対事業所）	北九州	受注減
167	非常に悪い	サービス業（対個人）	福岡	売上減少。